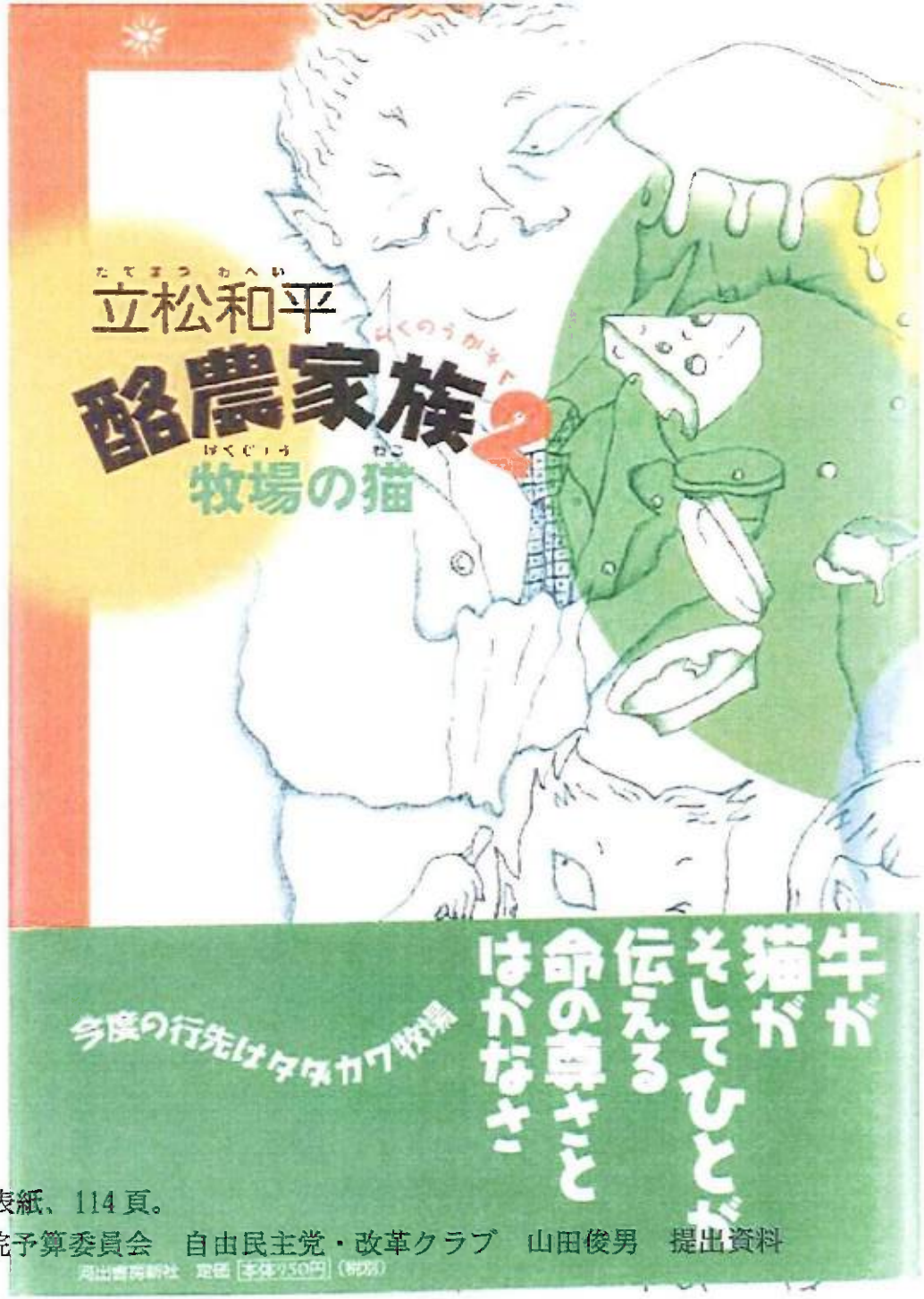
うがよいと考えているんですよ。これは信念といってもよい。牛がたくさんいる牧場は、命のいとなみの場所なんですよ。あの大きな身体のかがみがきたり死んだりして、わたしたち人間をやしなってくれているんです。そのことを、子供たちに見せてやりたい。命というものが見えなくなっている時代だからこそ、本当の命を感じさせてやりたいんです。命とは、大切なものですよ。自分の命も大切だけど、すべての命が大切なんです。学校で、そのことをきちんと教えられますか。学びたかったら、牧場にくればいいんです。多田川さん、もうすぐこの牧場に子供たちがたくさんやってきますよ。うちの正大が、きっそく学校でなにかやったようですな。なんですな、わたしはそこいる中に友達がいますから、なんでもわかってしまうんですよ。ものごとがうまくいっていない時は、なんでも知ってしまうのはつらいが、だいじょうぶ。今度はすべてうまく運んでいきますよ。楽しみにしてくださいよ。

それから二人の男は抱きあったまま、でたらめな踊りをした。父が大きな声で歌いはじめた。



出典：立松和平『酪農家族２　牧場の猫』河出書房新社、2000年、表紙、114頁。

平成22年3月9日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

牛が四つの脚をふんばり、んもーって、んもーって言いながら立ちあがった。
子牛がぬるっとでてきて、下しきのうえにおちた。父と名田川とは生まれたばかりの子牛をきれいな毛布に包み、母牛の顔にもっていってやった。母牛は子牛を舐めんばかりにいとおしげに手を口でつついたりしていた。
それからも母牛は子牛を舌でなめている。みんなは母牛を囲んでずらっと座っている。子牛からは湯気がたっていた。母牛がなめるにつれ、子牛のからだはかわく。子牛は口を開くと、四つの脚をつっぱらせ、一生懸命に起きようとしていた。誰も手助けしてやろうとはしない。母は長いあいだかかるはいうず、とても起きられそうには見えなかった。

がんばれ！

最初に誰かが心の中でいったのだった。

「がんばれ。がんばれ！」

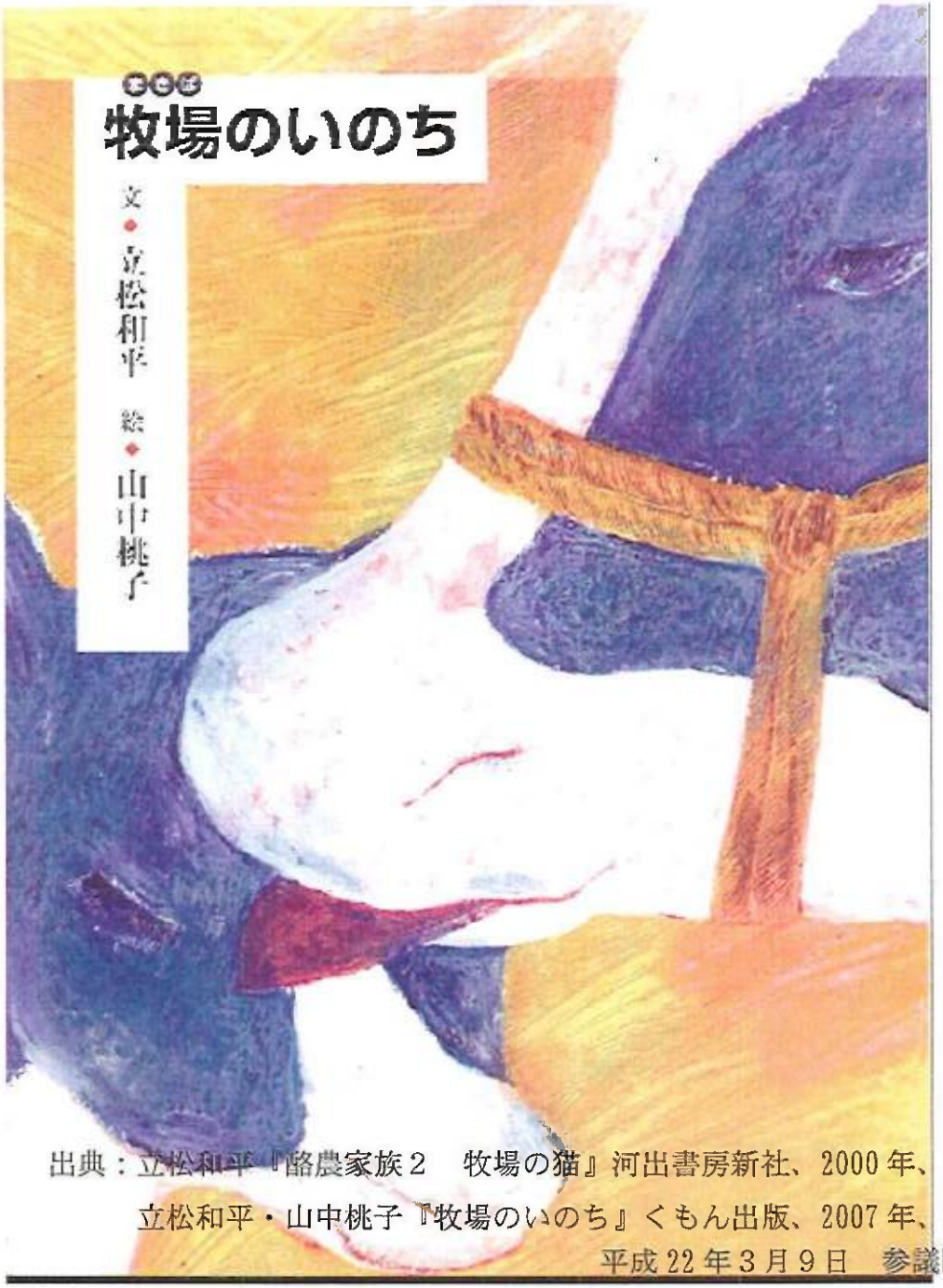
したいにみんなの声がそろってくる。母はよろよろとなりながらも。

がんばれ。がんばれ。がんばれ！

泣きながら声を出している子がいた。みんなが声出しをしながらがんばっ

出典：立松和平『酪農家族２　牧場の猫』河出書房新社、2000年、148-149頁。

平成22年３月９日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料



して、アルは田を地面につけ、踏んだ。一度、二度、脚は折れて曲りそうになった。とうとうアルは立ち上がったのだった。

拍手がわき上がった。なんども数えきれないほど見ているはずなのに、正夫はつられて友達といっしょに拍手をしていた。子牛が立ち上がった時、正夫はみんなといっしょに感動して涙を流していたのだ。そこはすぐに歩きはじめ、母親の乳房に吸いついた。それからのどを潤したせてうまそうに乳を飲みはじめたのだった。

「さあさあ、お坊っちゃん、お嬢ちゃん、おたしは井田正夫の父親です。みんな手を洗っていらっしゃい。よく手伝ってくれたごほうびをあげますよ」

タ、ラーボックスを中側に二個さげた父が、歌うようになめらかなリズムでいった。正夫と若葉がみんなを手洗い場につれていく。列をつくって手を洗い、もどってきた子から順番に父からアイスクリームをもらうのだった。正夫も若葉も友達といっしょにならび、ラベルのない一人用の大きなプラスチック容器にはいったアイスクリームをもらった。

出典：立松和平『酪農家族２　牧場の猫』河出書房新社、2000年、150頁。

立松和平・山中桃子『牧場のいのち』くもん出版、2007年、表紙。

平成22年３月９日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

主な農業・農村体験関連予算の推移

（単位：百万円）

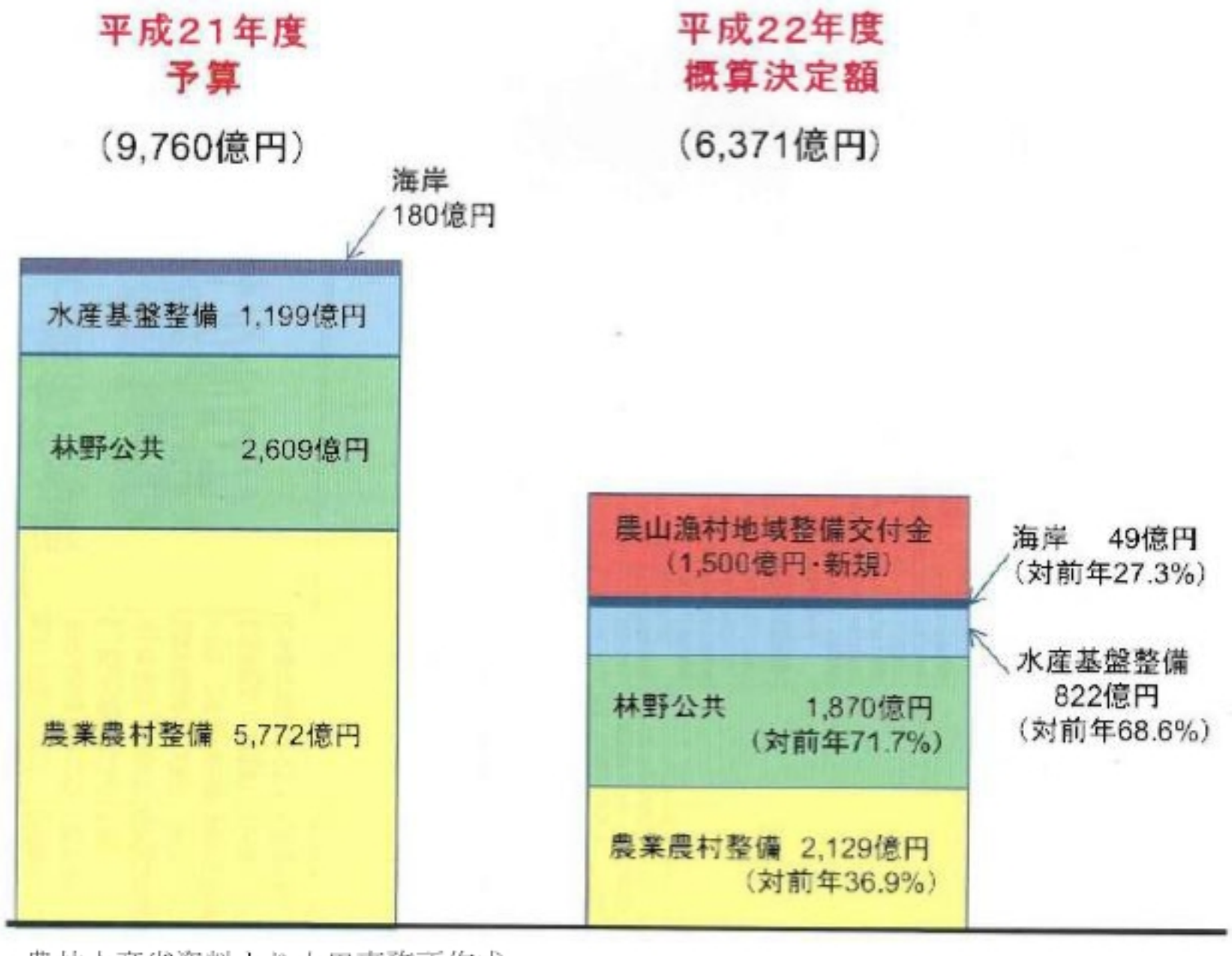
子ども農山漁村交流事業プロジェクト関連

	農業・農村体験関連事業の内容	左記の内容を含む項目名	20年度	21年度	22年度			
			当初予算	当初予算	概算要求	事業仕分け	予算案	備考
農水省	小学生の宿泊体験の体制整備	子ども農山漁村交流プロジェクト対策交付金（20年度：広域連携共生・対流等対策交付金）	973（内数）	640	740	縮減	388	
農水省	小学生の宿泊体験活動受入拠点施設の整備	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	30,546（内数）	34,915（内数）	31,084（内数）	縮減	24,591（内数）	
文科省	宿泊体験を通じた自然体験活動等の小学校の取組を補助	農山漁村におけるふるさと生活体験推進校	972	1,050	516	廃止	廃止	「農山漁村におけるふるさと生活体験推進校」は廃止されたが、同内容の事業は「豊かな体験活動推進事業」13,093百万円（内数）として措置される見込み。 ただし、概算要求時の516百万円よりは減額されたものと推定。
		豊かな体験活動推進事業	―	―	―	―	13,093（内数）	
総務省	各地方公共団体等に対するPR	都市・農山漁村の教育交流による地域活性化推進等事業	16	16		－	3	
農水省	牧場・乳業ふれあい支援事業	学校給食用牛乳等供給推進事業	1,800（内数）	1,800（内数）	1,800（内数）	縮減	廃止	「学校給食用牛乳等供給推進事業」は予算案で1,381百万円とされたが、牧場・乳業ふれあい支援事業は廃止。
農水省	教育ファームの推進	消費・安全対策交付金（20、21年度：にっぽん食育推進事業）	2,776（内数）	2,602（内数）	―	縮減	2,686（内数）	項目「食育の推進」として縮減。 交付金に含め予算案2,686百万円（内数）となったが、教育ファーム単体の予算は減額されたものと推定。

資料：農水省、文科省、総務省資料より山田事務所作成

平成22年3月9日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

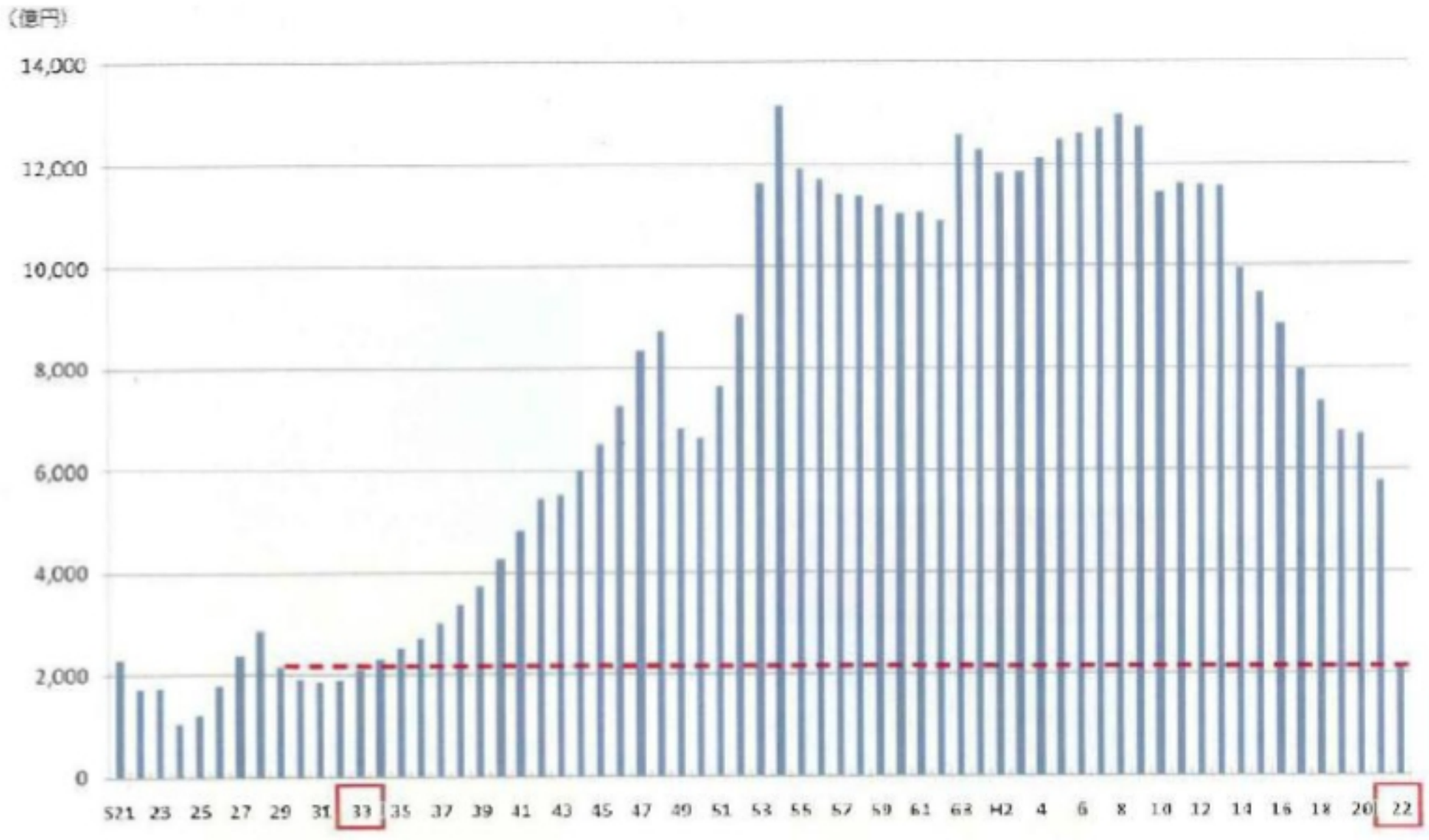
農林水産公共予算（２１、２２年度）



資料：農林水産省資料より山田事務所作成

平成 22 年 3 月 9 日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

農業農村整備事業費の推移（19 年ベース現在価値後）



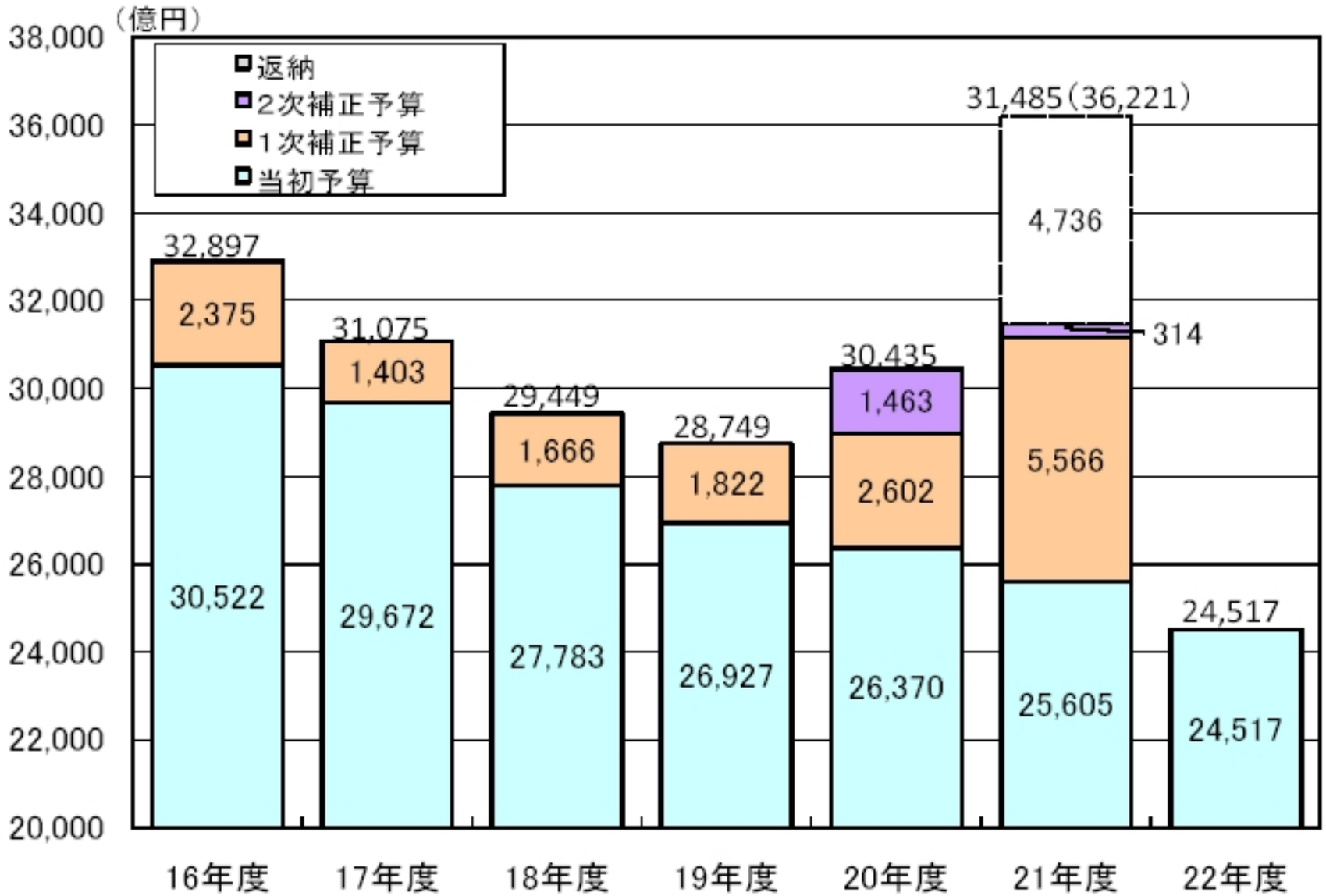
資料：農林水産省資料より山田事務所作成

注１　金額は、当初予算（国費）による

　２　金額は、平成 19 年度をベースとして現在価値に換算

平成 22 年３月９日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

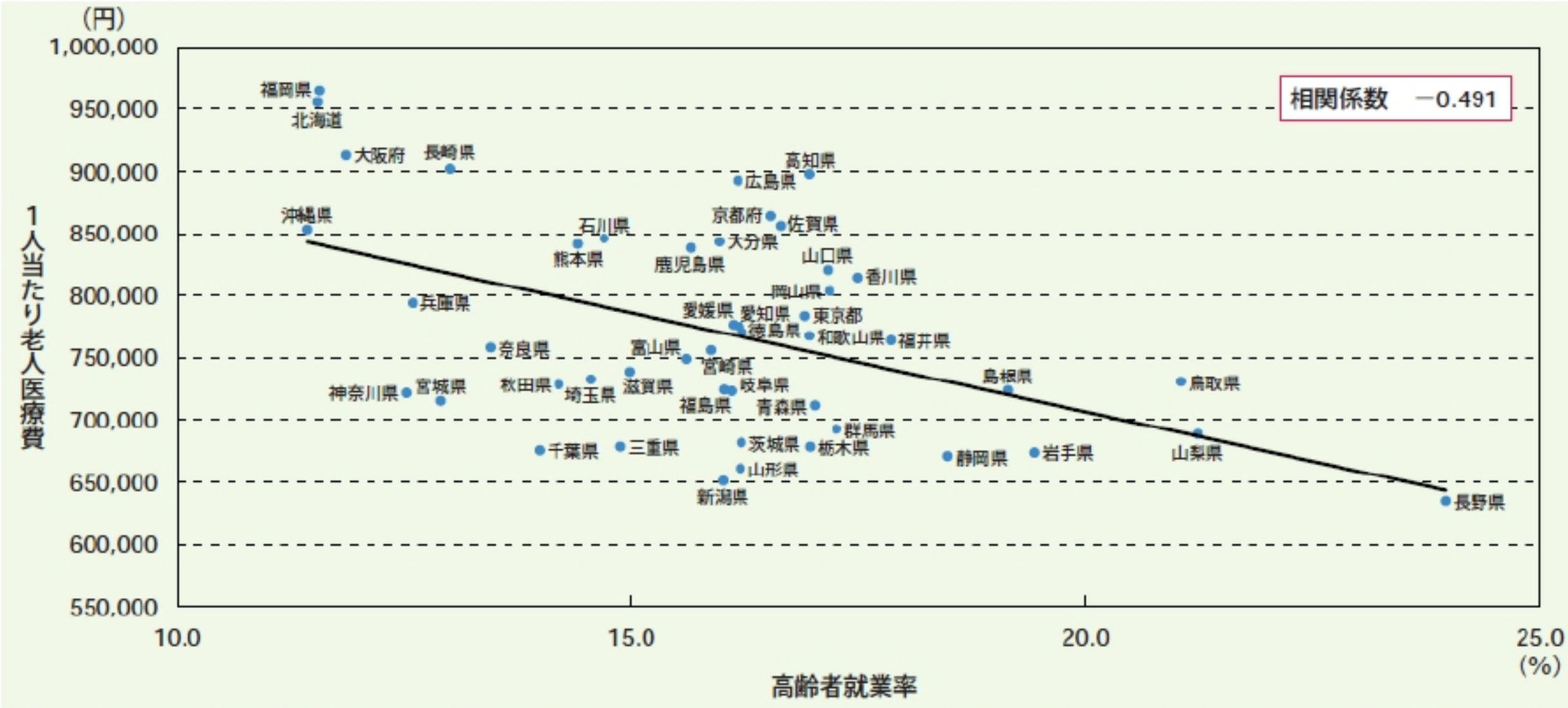
近年の農林水産予算



資料：農林水産省資料より山田事務所作成

平成 22 年 3 月 9 日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

１人当たり老人医療費と高齢者就業率の関係（都道府県別）



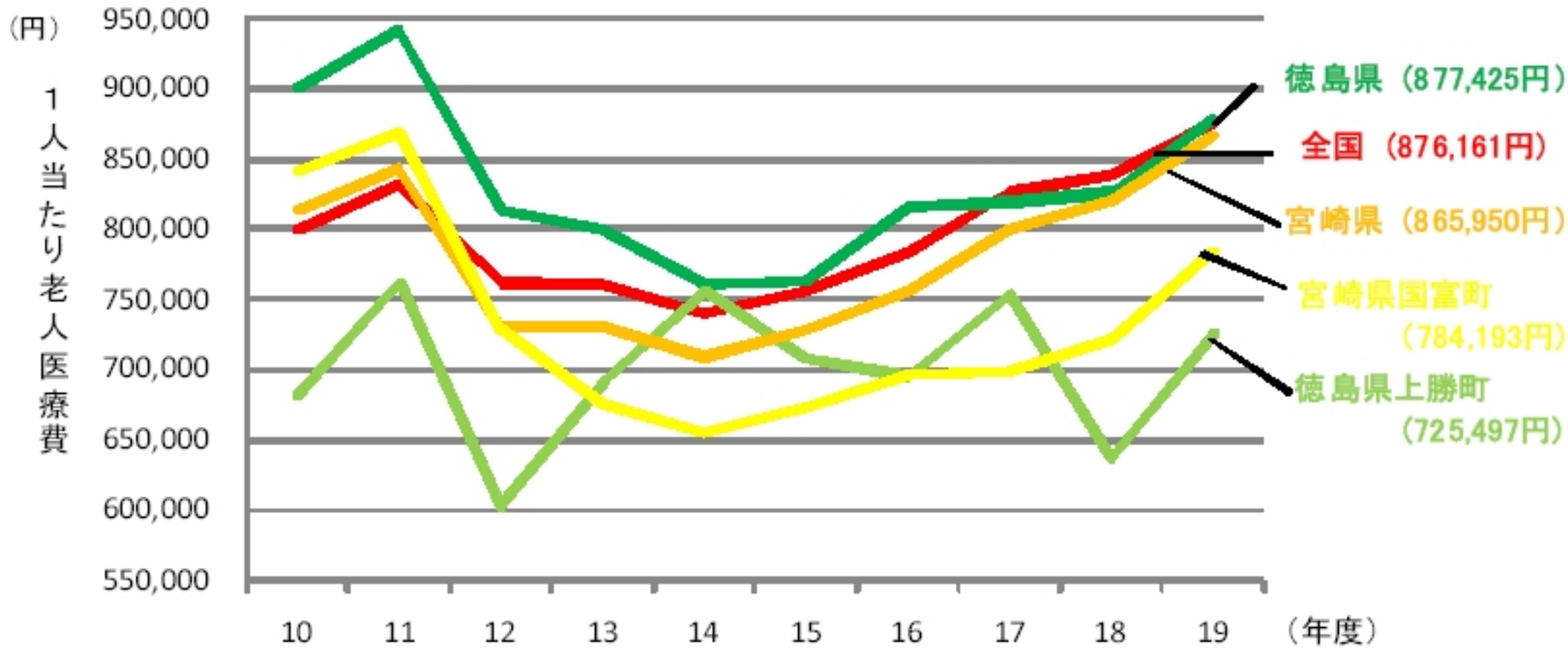
出典：平成 19 年版厚生労働白書（資料：厚生労働省保険局「老人医療事業年報」（2004 年度）、総務省統計局「国勢調査」（2005 年）より厚生労働省政策統括官付政策評価官室作成）

注１　老人医療の対象年齢は、平成 14 年 10 月より 70 歳から 75 歳へ５年間で段階的に引き上げ

２　高齢者就業率は 70 歳以上による

平成 22 年３月９日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

徳島県上勝町・宮崎県国富町に見る老人医療費と農業の関係



資料：国民健康保険中央会「国民健康保険の実態」より山田事務所作成

注１　「老人医療費」は、老人医療費受給対象者１人当たり医療諸費用額による

　２　老人医療の対象年齢は、平成 14 年 10 月より 70 歳から 75 歳へ５年間で段階的に引き上げ

平成 22 年３月９日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

農村分野における外国人研修生等の推移

（単位：人）

年度	12	13	14	15	16	17	18	19
研修生（注1）	54,049	59,064	58,534	64,817	75,359	83,319	92,846	102,018
うち農業分野	3,214	3,516	4,645	4,280	5,980	6,606	7,496	9,264
技能実習移行申請者	16,107	22,268	22,997	27,223	34,816	40,993	51,016	60,177
うち農業分野	247	510	849	1,155	1,837	2,758	3,341	4,045

資料：農林水産省、（財）国際研修協力機構調べより山田事務所作成

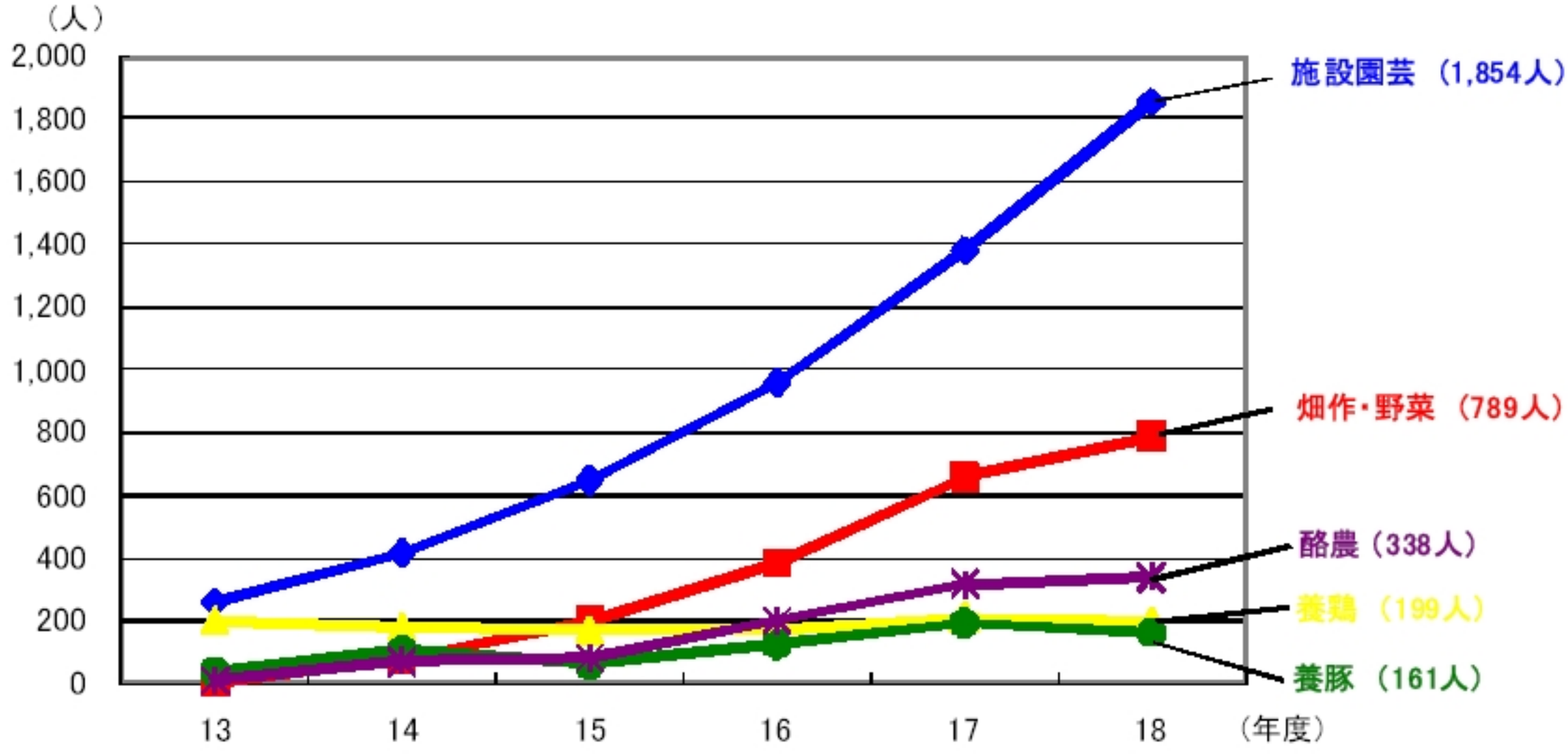
注１　研修生の全体数は、暦年による

２　研修生には、実習研修を行わない者を含む

３　技能実習生の実習期間は最長２年であるが実際の期間は未確認であり、研修生に技能実習移行申請者を加えた人数は当該年における外国人研修生等の総人数とは一致しない

平成 22 年３月９日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料

農業分野における技能実習移行申請者（作業別）の推移



資料：（財）国際研修協力機構資料より山田事務所作成

平成22年3月9日　参議院予算委員会　自由民主党・改革クラブ　山田俊男　提出資料